

体験型福祉施設「ボナプール楽生苑」



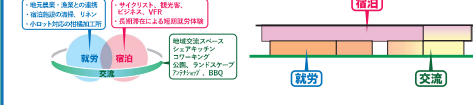
みらいの体験型福祉施設（障がい者就労継続支援B型+宿泊施設）

計画敷地：生口島（広島県尾道市瀬戸町町瀬戸島）

コンセプト

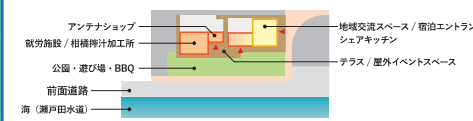
●就労支援施設と宿泊施設を融合し「体験型福祉施設」を創出します

就労・宿泊・交流の三本柱を大きな屋根の下に明快地構成し融合を図り、まちやコミュニティの形成に寄与し、地域発信型のシンボルとなる「みんなの家」をつくります。



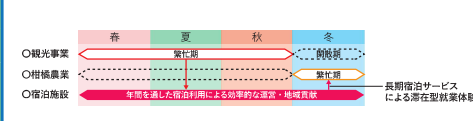
●周辺に開かれ、全ての人が利用しやすい明快な建築とします

ランドスケープに繋がりに水平に展開する1階は地域に開放し、様々な利用者が気軽に訪れ、就労者と交流できる場所を実現します



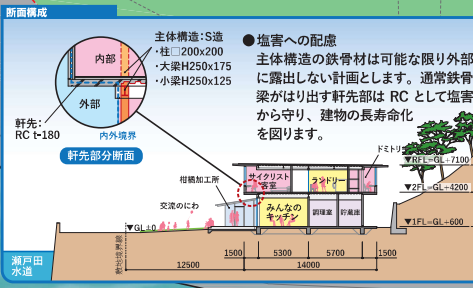
●地域課題に取り組む新たな拠点を創出します

島の新たな柑橘搾汁所は地域基幹産業のインフラの役割を担い、冬に繁忙期を迎える柑橘農業の人手不足や後継者問題、冬が閑散期となる観光の課題を開放的な客室と長期連泊サービスにより相乗効果的に解決を図ります



●経済性とフレキシビリティの高いシンプルな構造とします

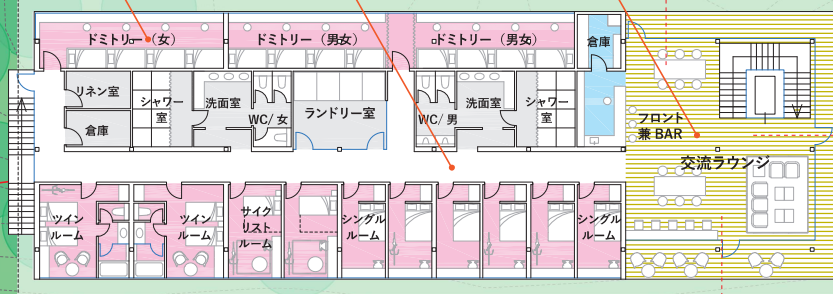
5m内外の規則的スパンによる鉄骨造とし、耐震ブレースのない純ラーメン架構で将来の変更に容易に対応出来る躯体を形成します



南向き横連窓で快適性を確保して冬の農業支援等による長期滞在にも対応します。

ワイドな通路でサイクリストが直接客室に自転車を運べます。

三方に開かれたラウンジは夕方から夜に交流の姿と共に街のように街に浮かび上がります。

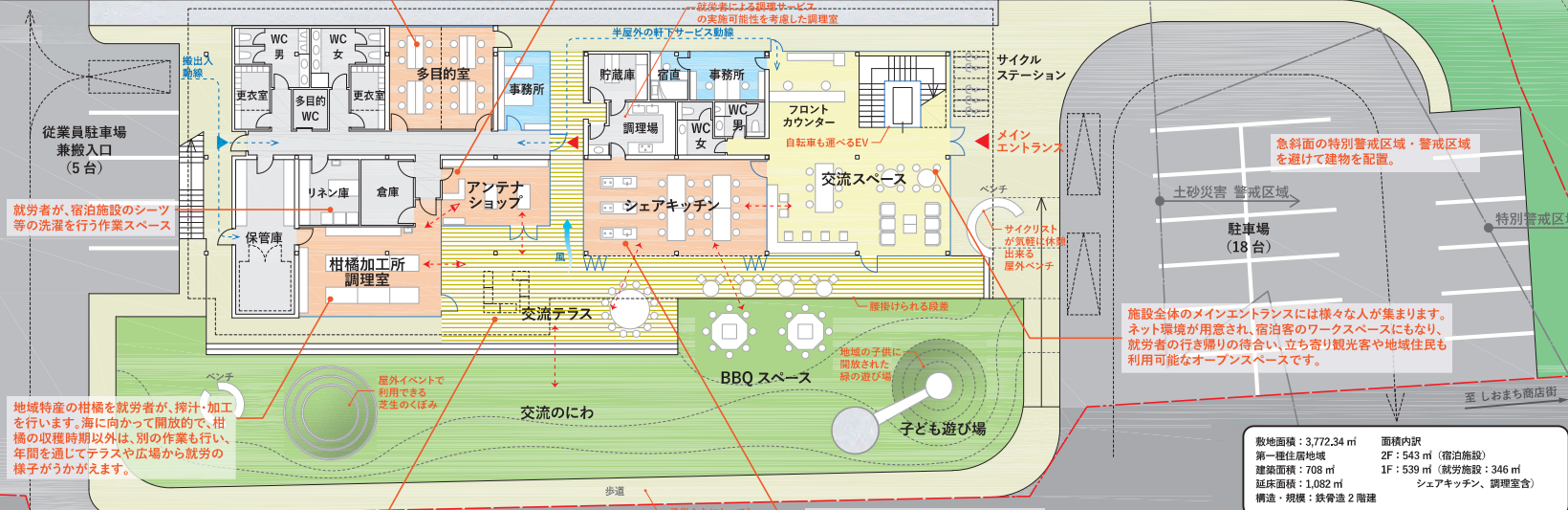


2階平面図

就労者が落ち着いて訓練したり休憩できる明るいスペースです。部屋を区切って相談室としても利用します。

海からの自然光

施設で加工された柑橘商品や地域産物を提供販売します。就労者のレジ打ち等の訓練、お客さんとの交流の場になります。



1階平面図（縮尺 1:200）

敷地面積: 3,772.34 m ²	面積内訳
第一種住居地域	2F: 543 m ² (宿泊施設)
建築面積: 708 m ²	1F: 539 m ² (就労施設: 346 m ²)
延床面積: 1,082 m ²	シェアキッチン、調理室含む
構造・規模: 鉄骨造 2階建	

地域特産の柑橘を就労者が、搾汁・加工を行います。海に向かって開放的で、柑橘の収穫時期以外は、別の作業も行い、年間を通じてテラスや広場から就労の様子が見えます。

屋外イベントで利用できる芝生のくぼみ

交流のにわ

子ども遊び場

柑橘搾汁所とアンテナショップ前の交流テラス。シェアキッチンやショップと連携でき、芝生の広場と連続して屋外イベントを行います。

子供たちにとって安全な歩道を整備

就労者の屋食時や、宿泊客、島内の地域住民も利用できる「みんなのキッチン」屋外のBBQスペースと連携して利用でき、様々な人の接点となります。

施設全体のメインエントランスには様々な人が集まります。ネット環境が用意され、宿泊客のワークスペースにもなり、就労者の行き帰りの待合、立ち寄り観光客や地域住民も利用可能なオープンスペースです。

急斜面の特別警戒区域・警戒区域を避けて建物を配置。

土砂災害 警戒区域

駐車場 (18台)

至しおまち商店街

